

商工業振興（中小企業経営革新事業費補助、 M-ｽﾃ産業競争力強化事業費補助）

アナ： 「市長が語る 2015 三島」第 16 回の今日は「中小企業経営革新事業費補助、M-ｽﾃ産業競争力強化事業費補助」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いいたします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 最初に、中小企業経営革新事業費補助についてお話いただけますか。

市長： 中小企業経営革新事業費補助は、新商品や新サービスの開発、商品の新たな生産又は販売方式の導入等、経営革新計画の実現に向けて取り組む中小企業者等を支援するものです。

静岡県に経営革新計画を承認された市内の中小企業者に対し、その計画の実施に必要な経費の 2/3 以内を上限 100 万円として補助します。平成 25 年度に三島商工会議所と三島市の協働で立ち上げた、みしま経営支援ステーション（通称 M-ｽﾃ）が相談窓口となっています。

アナ： なるほど。昨年度はどのような業種の企業がこの補助を受けましたか。

市長： 昨年度は、食料品製造業のほか工事業、カフェ、ペットショップや防災用品販売業など、様々な業種がこの補助金を活用して革新的な商品やサービスの開発に取り組みました。昨年度だけで合計 10 社、11 件の利用がありました。

アナ： 10 社で 11 件ということは、補助金の利用は 1 社 1 件限りというわけではないんですか。

市長： はい。同じ会社であっても複数の計画が県に承認されれば、それぞれに対して個別に補助金が交付されます。新商品のアイデアはたくさんあるけれど経費が気になって開発に踏み出せない、という中小企業者の方々にぜひ活用していただきたいと思います。

アナ： この中小企業経営革新事業費補助が中小企業者の皆さんを後押しする心強い支えになるといいですね。ぜひ積極的に活用していただき、新たな可能性に向けて前進して欲しいですね。

続いて、M-ｽﾃ産業競争力強化事業費補助についてお話を伺います。これはどのような補助でしょうか。

市長： M-ｽﾃ産業競争力強化事業費補助は、M-ｽﾃに対する補助ですが、M-ｽﾃによる支援の結果、業績が好転するなどの実績を上げた企業の表彰（M-ｽﾃ大賞）や、経営に役立つ著名人の講演実施などの各種事業を M-ｽﾃが行うことによって、中小企業者の競争力を底上げする狙いがあります。

アナ： 今年度この M-ｽﾃで行われている事業について、もう少し詳しく教えてください。

市長： はい。経営相談はもちろんのこと、昨年に引き続き女性就労相談も行っています。

また、三島でも昨今増加している外国人観光客に対応するため、インバウンド販売促進セミナーを6月に開催し、消費税の免税制度や外国人が多く利用しているクレジットカードシステムについて理解を深める機会も設けました。

そのほか、昨年度から実施の M-ｽﾀｰ大賞を今年度も引き続き実施し、新商品・サービスの開発や販路開拓、集客などの優秀なビジネスプランには、副賞の支援金により、プラン実現に向けての助成をします。なお、現在7月31日までの期間でプランの募集をしているところですので、事業者の皆さん、ぜひご応募ください。

アナ： 支援金があると新商品の開発等にも意欲が湧きますね。また、外国人観光客は最近本当に増えていますから、セミナーも市内の事業者にとって、とてもタイムリーで役立つものですね。

市長： 産業振興の分野はトレンドの移り変わりも激しいので、常に世の中の動きにアンテナを高くしながら、その時に良いと判断した施策を迅速に行うことが大切です。

アナ： M-ｽﾀｰ産業競争力強化事業費補助は、市内の企業が抱える課題を的確に捉えて解決に向かうために必要な事業に使われているわけですね。M-ｽﾀｰの相談窓口を多くの企業の皆さんに活用していただきたいですね。三島の企業が元気になり、三島の商品を多くの方に知ってもらえるといいですね。

市長： 三島には磨けば光る宝がたくさんあり、潜在能力の高い魅力的な企業もたくさんあります。これらの補助事業により、三島の企業をさらに元気にしていきたいと思えます。

アナ： 私も三島市民として期待しています。豊岡市長、本日はどうもありがとうございました。

市長： ありがとうございました。